



Startups, Inc.

フォースタートアップス株式会社

2023.10.13 企業IR & 香川証券資産運用セミナー

TSE : Growth 7089

Agenda

1. 会社概要
2. スタートアップの状況
3. 事業概要
4. Appendix



当社の開示情報をIRメールにて配信しております。
どなたでも無料でご登録いただけます。



フォースタートアップス株式会社 代表取締役社長 志水 雄一郎

福岡県出身。中学・高校の同級生に堀江貴文氏、孫泰蔵氏など

1996年 株式会社インテリジェンス（現パーソルキャリア株式会社）入社
転職サイト「DODA（現 doda）」の立ち上げに携わる

2012年 株式会社セントメディア（現株式会社ウィルオブ・ワーク）入社
スタートアップ企業向け人材紹介ヘッドハンターとして活動

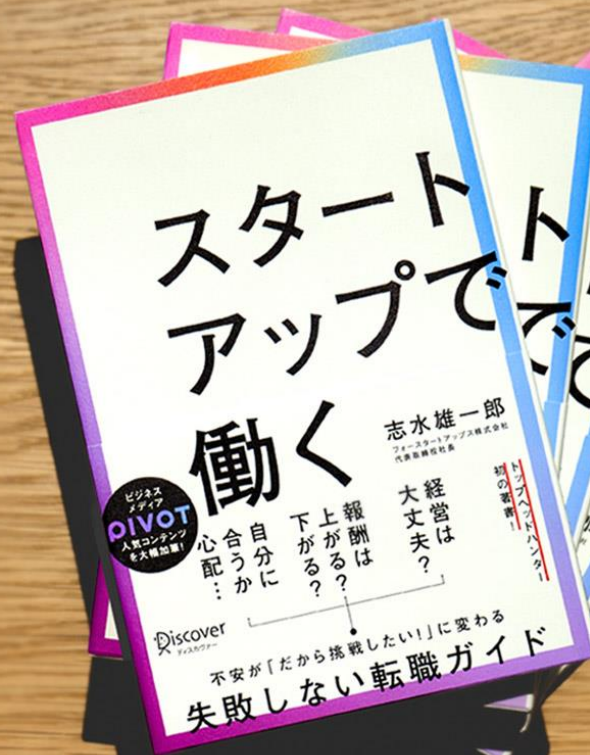
2014-15年 ビズリーチ主催『Headhunter of The Year』2年連続受賞
2016年 国内初『殿堂』入りHeadhunter認定

2016年 事業部門を法人化。株式会社ネットジンザイバンク（現当社）設立

2023年 自身初となる書籍「スタートアップで働く」を出版

“ 現代のビジネス環境において
急成長するスタートアップ企業で
働くことの意味と価値について
深く考察した一冊。 ”

—— 孫 泰蔵





会社概要

社名	フォースタートアップス株式会社 (英語名; for Startups, Inc.)
設立	2016年 9 月
本社所在地	東京都港区六本木1-6-1 泉ガーデンタワー 36F
正社員数	187名 (2023年9月30日時点)
資本金	226百万円 (2023年6月末)
事業内容	成長産業支援事業

上場市場	東京証券取引所グロース市場 証券コード: 7089
グループ会社	フォースタートアップスキャピタル合同会社 シングレス株式会社



2016.9	新設分割による当社設立　＜株式会社ウィルグループ100%子会社＞
2018.3	フォースタートアップス株式会社へ商号変更
2020.3	東京証券取引所マザーズへ上場　＜証券コード：7089＞
2021.5	投資子会社　フォースタートアップスキャピタル合同会社設立
2021.8	フォースタートアップスキャピタル1号投資事業有限責任組合を組成
2023.10	人材紹介業を営む子会社　シングレス株式会社を設立

フォースタートアップス株式会社



スタートアップ支援の会社です

- ◆ 2013年、志水「日本は豊かではない」と気づく
- ◆ 国内HR(人材)業者が古いキャリア観に捉われていることが要因と分析



米国のGAFAMのように『世界に名を轟かせるスタートアップ』を
日本から生み出すために自分の人生の後半を捧げようと決意



企業と優秀人材をマッチングする「スタートアップ向け人材紹介」を開始

- ◆ 関西広域連合のスタートアップ事業を3年連続受託
『関西スタートアップ・エコシステム情報発信事業』



- ◆ 徳島発スタートアップ『株式会社電脳交通』－人材紹介で支援
- ◆ 『徳島ビジネスチャレンジメッセ2023』
当社Public Affairs 戦略室長の泉が登壇



*Startups First
Be a Talent
The Team*

スタートアップの状況

01 なぜスタートアップなのか

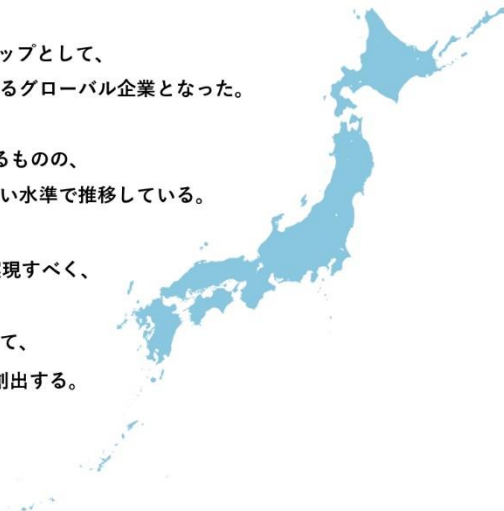


スタートアップこそ、
課題解決と経済成長を担うキープレイヤーである。

我が国を代表する電機メーカーや自動車メーカーも、
戦後直後に、20代、30代の若者が創業したスタートアップとして、
その歴史をスタートさせ、その後、日本経済をけん引するグローバル企業となった。

しかし、2023年現在、多様な挑戦者は生まれてきているものの、
開業率やユニコーン企業数は、米国や欧州に比べ、低い水準で推移している。

そこで、戦後の創業期に次ぐ、**第二の創業ブーム**を実現すべく、
スタートアップの起業や規模拡大・成長の加速、
既存大企業によるオープンイノベーションの推進を通じて、
日本に**スタートアップを生み育むエコシステム**を創出する。



2

出所：経済産業省
『スタートアップ育成に向けた政府の取り組みースタートアップの力で社会課題解決と経済成長を加速する』（2023年7月）

政府の動き

【2020年】

- ・ エコシステム拠点都市 選定

【2022年】

- ・ スタートアップ創出元年 宣言
- ・ 骨太の方針に組み込まれる
- ・ スタートアップ育成5カ年計画
- ・ 補正予算1兆円を計上

【2023年】

- ・ 骨太の方針に組み込まれる
(2年連続)

スタートアップが国策となった背景－世界時価総額ランキング

世界時価総額ランキングTOP20 (1989年)

順位	企業名	時価総額 (億ドル)	国・地域名
1	NTT	1,639	 日本
2	日本興業銀行	716	 日本
3	住友銀行	696	 日本
4	富士銀行	671	 日本
5	第一勧業銀行	661	 日本
6	IBM	647	 アメリカ
7	三菱銀行	593	 日本
8	Exxon	549	 アメリカ
9	東京電力	545	 日本
10	Royal Dutch Shell	544	 イギリス
11	トヨタ自動車	542	 日本
12	General Electric	494	 アメリカ
13	三和銀行	493	 日本
14	野村證券	444	 日本
15	新日本製鐵	415	 日本
16	AT&T	381	 アメリカ
17	日立製作所	358	 日本
18	松下電器	357	 日本
19	Philip Morris	321	 アメリカ
20	東芝	309	 日本

世界時価総額ランキングTOP20 (2023年)

順位	企業名	時価総額 (億ドル)	国・地域名
1	Apple	23,242	 アメリカ
2	Saudi Aramco	18,641	 サウジアラビア
3	Microsoft	18,559	 アメリカ
4	Alphabet	11,452	 アメリカ
5	Amazon.com	9,576	 アメリカ
6	Berkshire Hathaway	6,763	 アメリカ
7	Tesla	6,229	 アメリカ
8	NVIDIA	5,728	 アメリカ
9	UnitedHealth Group	4,525	 アメリカ
10	Exxon Mobil	4,521	 アメリカ
11	Visa	4,518	 アメリカ
12	Meta Platforms	4,454	 アメリカ
13	台湾積体電路製造 (TSMC)	4,321	 台湾
14	騰訊控股 (Tencent Holdings)	4,239	 中国
15	JPMorgan Chase	4,135	 アメリカ
16	LVMH Moët Hennessy Louis Vuitton	4,125	 フランス
17	Johnson & Johnson	4,076	 アメリカ
18	Walmart	3,842	 アメリカ
19	Mastercard	3,376	 アメリカ
20	Procter & Gamble	3,285	 アメリカ

【1989年】

世界の企業の時価総額ランキングで
日本企業が上位50社の6割を占める

【2023年】

GAFAMやTesla、NVIDIAなどの
米国のスタートアップが既存大企業を
追い抜き上位にランクイン

時価総額20位以上をキープしている
のは、Exxon Mobil社のみ

日本企業は上位100社でみて1社

注1:2023年2月28日時点

注2:1989年のデータはダイヤモンド社のデータ (<https://diamond.jp/articles/-/177641?page=2>) を参照

注3:2023年のデータはWright Investors Service, Inc.のデータ (<https://www.corporateinformation.com/Top-100.aspx?topcase=b#/tophundred>) を参照

注4:小数点以下は四捨五入

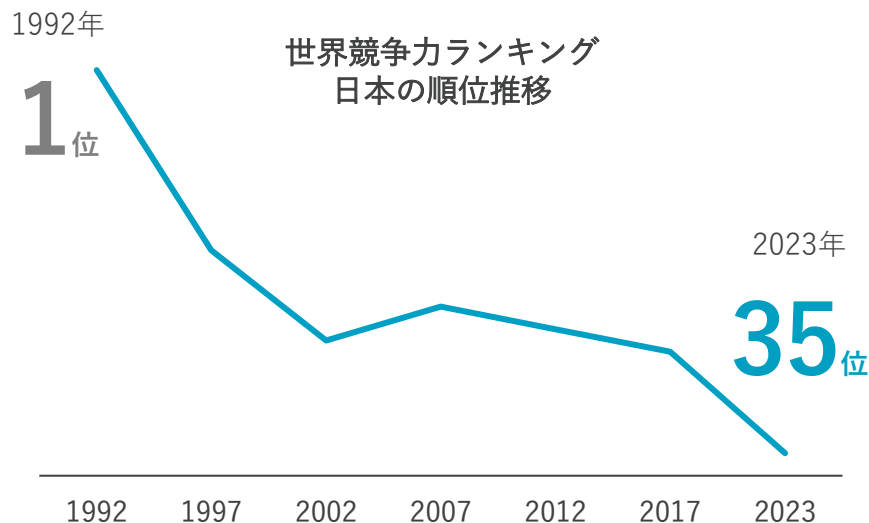
注5:1USDに対し、次のレートでドル換算した。そのため参照元と順位が異なる場合がある。

3.75SAR 30.65TWD 6.93RMB 0.94EUR 7.03DKK 1,318.38KRW 0.94CHF 0.83GBP 3.67AED

STARTUP DB

スタートアップが国策となった背景ー世界競争力ランキング

IMDが調査する世界競争力ランキングにおいて、
かつて1位だった日本は直近35位という状況



IMD世界競争力ランキングより当社作成

世界競争力ランキング 2023

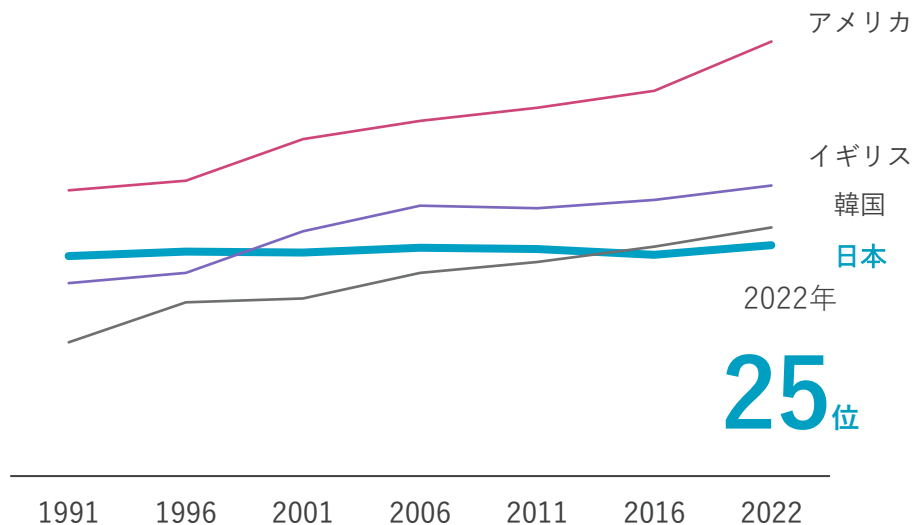
1位	デンマーク	11位	フィンランド
2位	アイルランド		⋮
3位	スイス	21位	中国
4位	シンガポール		⋮
5位	オランダ	28位	韓国
6位	台湾		⋮
7位	香港	30位	タイ
8位	スウェーデン		⋮
9位	アメリカ	34位	インドネシア
10位	UAE	35位	日本

IMD世界競争力ランキングより当社作成

スタートアップが国策となった背景－日本人の平均賃金

『失われた30年』という状況で、日本人の賃金は横ばいが続いている
GDP世界3位であるにも関わらず、平均賃金は隣国である韓国より低くなった

主要国の平均賃金推移



OECD (2022), "Average annual wages", OECD Employment and Labour Market Statistics (database)

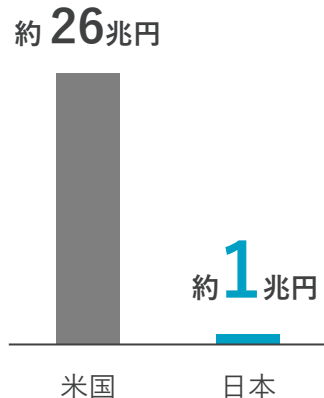
OECD加盟国平均賃金(2022)

1位	アイスランド	79.4k USD
2位	ルクセンブルク	78.3k USD
3位	アメリカ	77.4k USD
	⋮	
11位	ドイツ	58.9k USD
12位	イギリス	53.9k USD
14位	フランス	52.7k USD
	⋮	
19位	韓国	48.9k USD
	⋮	
25位	日本	39.7k USD

スタートアップエコシステムが確立している米国の状況

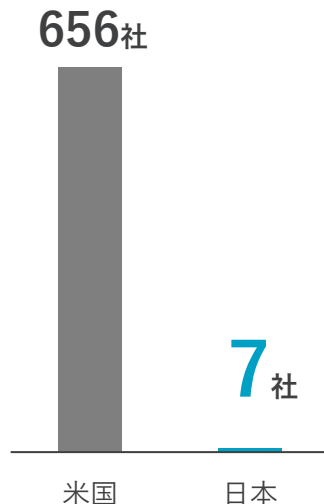
日本のスタートアップエコシステムは米国と比較すると極小。エコシステムが次世代の競争力の種になると考えれば、日本の経済成長は今後も停滞していく可能性

スタートアップ資金調達額
(2022年)



出所) 米国: CB Insights 2022 State of Venture Report
日本: STARTUP DB 為替は2022年12月末日現在の値

ユニコーン企業数
(2023年7月時点)



出所) 米国: CB Insights The Complete List Of Unicorn Companies (As of June 2023)
※ユニコーン企業: 評価額10億ドル以上の企業

【米国の状況】

- 『起業』が最も良いキャリア選択であり、起業家の数が多い
- シリコンバレーを中心としたエコシステムがあり、投資額・流入額が大きい
- 強いスタートアップが生まれ続け、大企業とスタートアップが優秀人材の採用を争う

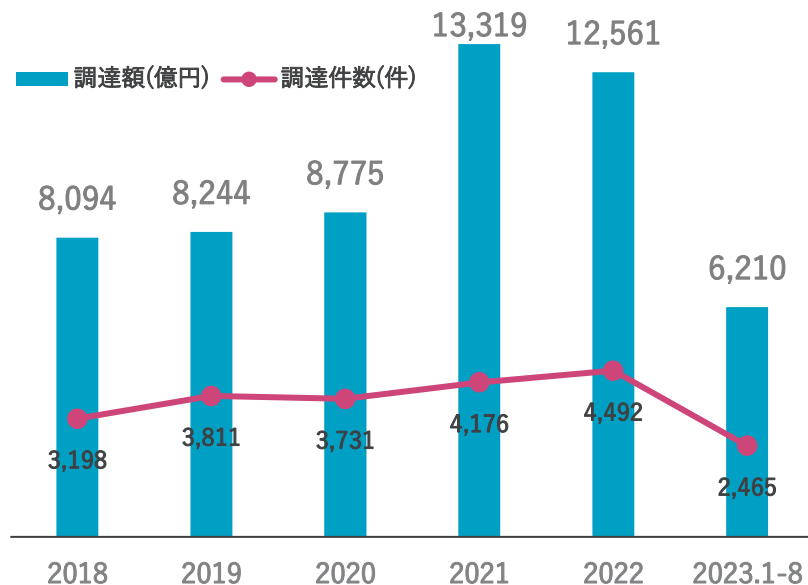
→構造的な賃金上昇の循環が生まれる

現在のスタートアップの状況を示す指標－資金調達金額

スタートアップはVC(ベンチャーキャピタル)等からの出資を受け、事業成長を進める
国内スタートアップの『資金調達金額』の状況は当社事業環境に影響する

年間合計資金調達金額 / 調達件数の推移

※デットによる調達・子会社出資等を含む



参照：STARTUP DB ※2023/9/26時点

【2022年】

- 2021年・2022年ともに1兆円規模
- 10年前の資金調達金額の約**10倍**の規模

【2023年】

- 『スタートアップ冬の時代』到来
- 資金調達金額(国内)は前年比3割減ペース
- 政策が下支えし、持ち直しの傾向に

【今後】

- 資金調達金額をさらに**10倍**にする政策目標

スタートアップ育成政策の目標と3本の柱

03 5年後の目標と3つの柱



官民によるスタートアップ育成策の全体像をまとめ、
人材、資金、ビジネス環境などの様々な支援展開を発表。

スタートアップへの
投資額を
5年で10倍に



人材・ネットワークの構築

スタートアップで最も大切なのは人。
スタートアップの担い手を育成し、起業を加速。



資金供給の強化 と 出口戦略の多様化

スタートアップが大きく成長するのに必要な資金。
ベンチャーキャピタルや個人からの投資を拡大。



オープンイノベーションの推進

エグジットとしてM&Aを増やすなど
大企業とスタートアップとの
オープンイノベーションを推進。

8

事業開始当初、今の10分の1だった
資金調達額を今後5年で今の10倍に
するという政府目標が掲げられる

過去からの15年で
市場規模100倍の可能性

それが『スタートアップ』市場

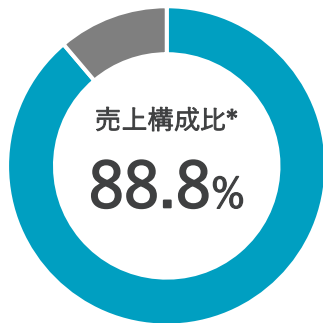
出所：経済産業省

『スタートアップ育成に向けた政府の取り組み—スタートアップの力で 社会課題解決と経済成長を加速する』（2023年7月）

A modern office interior featuring a blue leather sofa, a wooden coffee table, and a wooden dining table with chairs. Large windows in the background provide a view of a city skyline. A blue banner with white text is overlaid on the image.

事業概要

タレントエージェンシー

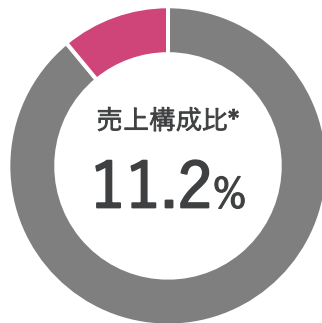


人材の支援

起業支援

人材紹介

オープンイノベーション



エコシステム構築支援

STARTUP DB

Public Affairs

資金調達支援

ベンチャーキャピタル



資金の支援

スタートアップ投資

*値は2023年3月期実績

最重要経営資源である『人材』を中核とした成長産業支援を展開

03 5年後の目標と3つの柱



官民によるスタートアップ育成策の全体像をまとめ、
人材、資金、ビジネス環境などの様々な支援展開を発表。

スタートアップへの
投資額を
5年で10倍に



人材・ネットワークの構築

スタートアップで最も大切なのは人。
スタートアップの担い手を育成し、起業を加速。



資金供給の強化と 出口戦略の多様化

スタートアップが大きく成長するのに必要な資金。
ベンチャーキャピタルや個人からの投資を拡大。



オープンイノベーションの推進

エグジットとしてM&Aを増やすなど
大企業とスタートアップとの
オープンイノベーションを推進。

スタートアップ政策の『3つの柱』
当社事業ポートフォリオと同じ

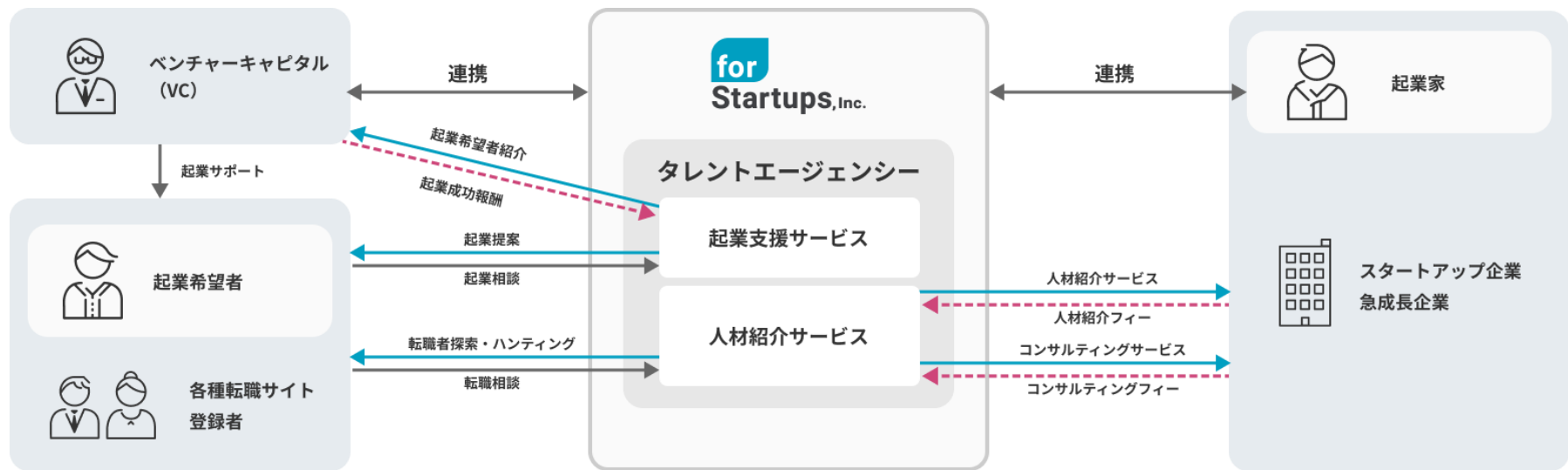
タレントエージェンシー

ベンチャーキャピタル

オープンイノベーション

出所：経済産業省
『スタートアップ育成に向けた政府の取り組み—スタートアップの力で 社会課題解決と経済成長を加速する』（2023年7月）

スタートアップ × 人材紹介



← 役務提供の流れ

← 手数料、報酬等の支払

【タレントエージェンシー】 高成長市場にポジショニング

スタートアップ・急成長企業

スタートアップ特化型
スモールエージェント

for
Startups, Inc.

新設子会社
Syngress

独立系個人
エージェント

大手人材
エージェント

外資系ヘッドハンティング会社

メンバークラス
未経験

経営層
経験豊富

安定成長企業

【タレントエージェンシー】人材紹介の売上高－構成要素

人材紹介サービスは成功報酬型のビジネス。求人企業から紹介手数料を頂く
紹介手数料は転職先での「理論(想定)年収」に契約で定められた料率を乗じて算出する

$$\begin{array}{ccccc} \text{紹介} & & & & \\ \text{手数料} & = & \text{理論年収} & \times & \text{手数料率} \end{array}$$

単純なビジネスモデルのため、人材紹介業の参入障壁は低い

当社は、スタートアップ企業向け人材紹介サービスのリーディングカンパニー

1. ③人材 スタートアップにおける待遇、転職数



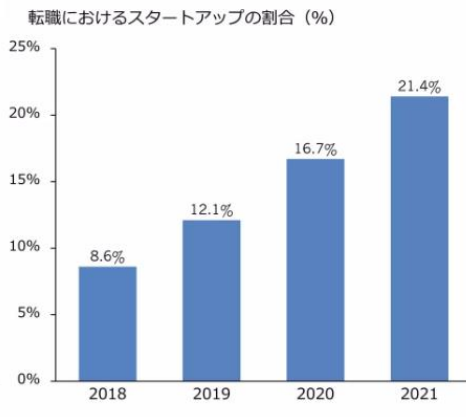
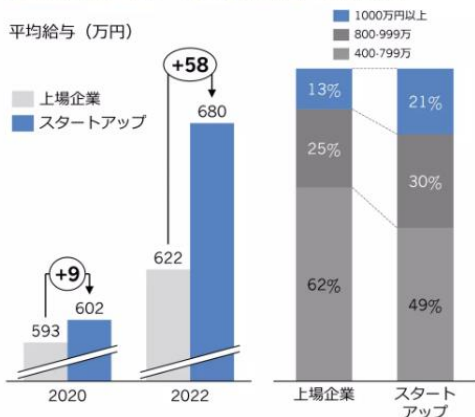
スタートアップの上場企業との給与差は拡大しており、高年収を提示する企業の割合もスタートアップが上回る。待遇の向上に伴い大手企業からスタートアップに転職する割合も増加

会社種別の平均給与

ベンチャーへの転職比率

平均給与と差は2020年から2022年にかけて、9万円から58万円まで拡大。年収1000万円以上のポジションの割合も、上場企業13%に対してスタートアップ21%と~1.6倍の水準

転職のうち、大企業からスタートアップへの転職が占める割合は2018年からの3年間で~2.5倍に増加。



Source: プレジデント「平均年収が高い! 全国トップ500社」ランキング2022; 日本経済新聞「大企業から新興へ転職者7倍 給与年収差が広い」; 「スタートアップ年収、上場企業を7%上回る 650万円」

Copyright © Japan Venture Capital Association all rights reserved. 9

JVCA(日本ベンチャーキャピタル協会)の調査結果

- スタートアップで働く人の平均年収は上場企業平均年収より高い
- 高年収ポジションの割合も上場企業より多い
- 転職においてスタートアップを選択する人の割合が年々増加

当社事業においてポジティブな状況

スタートアップ関連の情報が入る仕組みを構築し、参入障壁かつ強みになっている

一般的な人材紹介会社にとって、未上場のスタートアップ企業は情報開示が義務化されていないため不確実性の高いスタートアップ企業へ転職を薦めるためのアトラクト情報の取得コストが高い

◆強み

未上場企業の情報収集力

◆情報収集のしくみを構築

データベースによる定量情報
起業家・VCからの定性情報

→
→

STARTUP DB
勉強会・感謝祭

【タレントエージェンシー】強みー日本を代表するプレイヤーとのネットワーク

企業勉強会（年間150回以上）や自社イベントの開催を通じ、深い業界理解と企業理解を有する

*ご来社された起業家・投資家の皆様（抜粋）



勉強会

起業家・投資家からの情報をインプット



感謝祭

産官学のステークホルダーとの関係構築

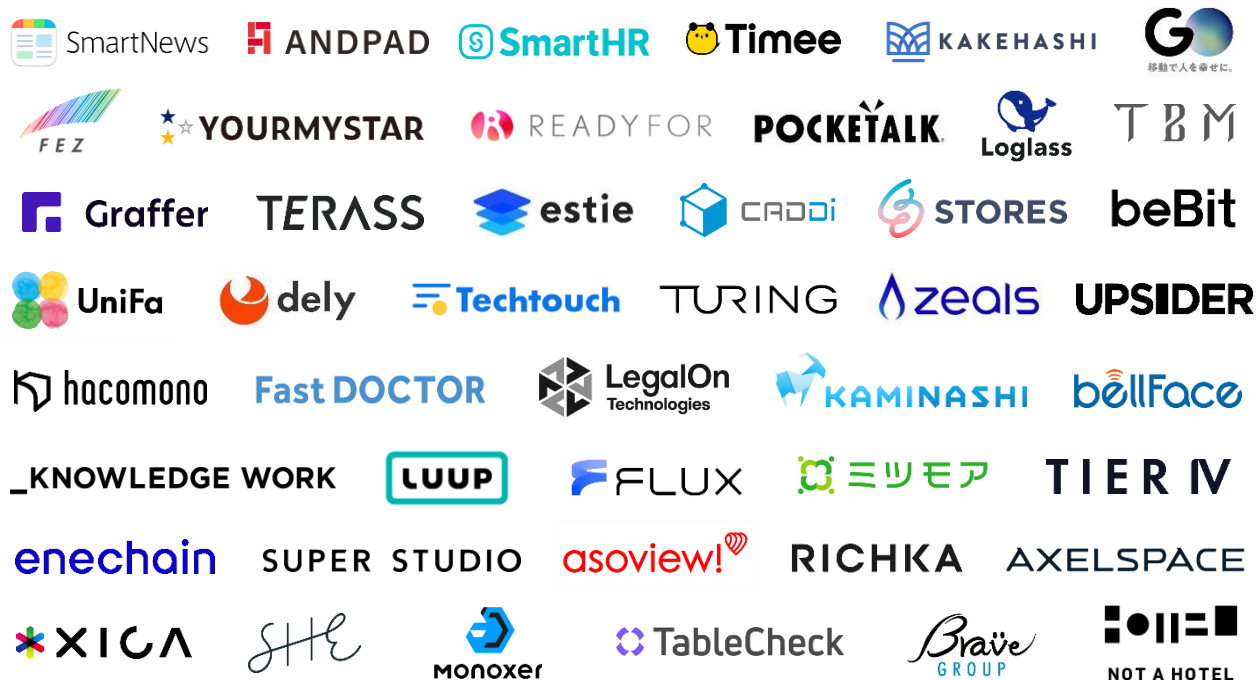


交流会

スタートアップ界隈の交流会を開催

【タレントエージェンシー】人材紹介支援実績

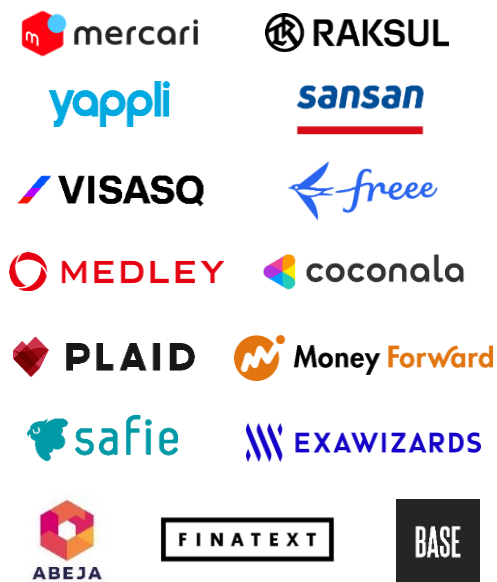
未上場スタートアップ



エコシステムビルダー (VC、イノベーション・キャンパス)



支援中に上場したスタートアップ



既存上場企業



【タレントエージェンシー】スタートアップの成長戦略に合う人材支援

スタートアップ各社の戦略や文化を理解し、成長に必要な人材を支援できることが当社の強み

EVANGE (エヴァンジェ)

<https://evange.jp/>

当社がご支援した**CXO・経営幹部層**の
代表的な支援事例をご紹介しているオウンドメディア



*ココナラ社の鈴木 歩氏は、COOとして支援後、2020年9月にCEOに就任

*ヤプリ社の山本 崇博氏は、CMOとして支援後、2023年1月に取締役執行役員COOに就任

Challengers (チャレンジャーズ)

当社がご支援している**スタートアップ**の
代表的な支援事例をコーポレートサイトにてご紹介



株式会社ヤプリ



セーフィー株式会社



株式会社タイミー



株式会社ココナラ

【オープンイノベーション】 サービスラインナップ

STARTUP DB

21,000社以上のスタートアップを掲載するデータベースの有料会員プランを展開
<月額課金－SaaS型のビジネスモデル>

STARTUP DB



Public Affairs

中央官庁・地方公共団体のスタートアップ政策支援。自治体等の募集案件に入札し、アクセラレーションプログラム等を運営

▼ 支援実績例



ひろしまユニコーン10プロジェクト

ユニコーンに匹敵する企業を
広島から10年間で10社創出する

資金調達支援

資金ニーズのあるスタートアップと大手企業やVCのマッチングを支援するサービス。
資本業務提携につながる事案が多い

▼ 支援実績例



日本全国のスタートアップエコシステム構築を推進

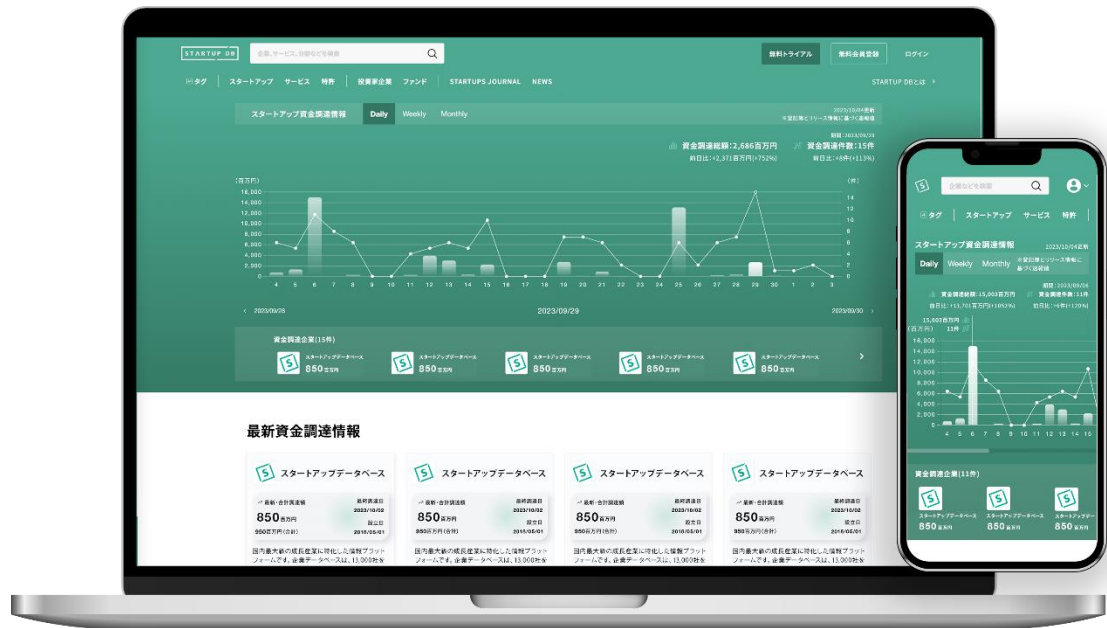


※東京商工リサーチ調べ。有料、無料会員数合計。2023年6月末時点。

21,000社以上の成長企業を集約した

成長産業に特化した プラットフォーム

STARTUP DBは、スタートアップの企業概要、
資金調達情報、評価額、特許情報などの情報を集
約した国内最大級のプラットフォーム
スタートアップの情報に限らず、投資家や投資企
業のポートフォリオや GP / LP の情報も集約



【オープンイノベーション】STARTUP DB 会員属性

大手の事業会社・CVCを中心に、VCや外資系企業も導入
会員限定のオフラインコミュニティを発足し、オープンイノベーションを推進

ENTERPRISE 導入企業

事業会社を中心に、金融機関、コンサル/調査会社
や外資系企業も利用



導入企業（一部抜粋）

STARTUP DB 会員の属性



国内No.1の会員数を誇るSTARTUP DB
会員限定で実施されるコミュニティ



※東京工科大学調べ、有料、無料会員数合計。2023年6月末時点。

【オープンイノベーション】Public Affairs－官公庁等との連携

Public Affairsにおいて、政府・官公庁・自治体・大学・経済団体等と連携を実施
今後、更なる連携を深め事業を通じてスタートアップエコシステムの発展に貢献

加盟団体

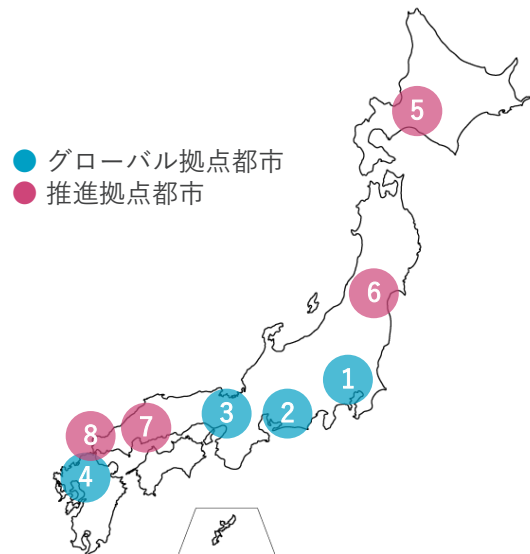
日本経済団体連合会（経団連）	会員、スタートアップ委員会企画部会/スタートアップ政策タスクフォース
新経済連盟（新経連）	会員
経済同友会	会員、ラウンドテーブル・クロスリーチ PT副委員長
日本ベンチャーキャピタル協会	会員、ベンチャーエコシステム委員

中央政府事業採択事例

内閣府	「令和2年度スタートアップ・エコシステム海外発信調査」事業
経済産業省	J-Startup Supporters、経済産業省令和3年度「SHIFT(x)」事業 総合アドバイザー
NEDO	スタートアップ向け人材支援事業の取り組み状況に関する調査事業
JETRO	日本におけるスタートアップエコシステムを海外に発信するための調査及び広報活動

【オープンイノベーション】Public Affairs－エコシステム拠点都市での展開

内閣府等が選定したスタートアップエコシステム
拠点都市8拠点のうち6拠点において、
当社がスタートアップ関連事業を受託・展開
または協力機関として参画している



1 スタートアップ・エコシステム
東京コンソーシアム

Tokyo NEXT 5G
Tokyo NEXT 5G Booster Project

次世代通信技術活用型
スタートアップ支援事業

スタートアップ事業成長プログラム

東京立憲事典センター

2 Central Japan Startup
Ecosystem Consortium

浜松市

- スタートアップ成長支援事業
- Next Innovator 育成事業

愛知県

- シンガポール国立大学連携事業
- ディープテック推進事業
(CIC Institute、株式会社リバネスと合同)

3 大阪・京都・ひょうご神戸
コンソーシアム

関西スタートアップ・エコシステム
情報発信事業

- ライフサイエンスアントレプレナー
シップ人材育成及び事業化促進事業
- 海外プロモーションモデル事業

「戦略的首都圏企業連携推進業務」
企画・運営業務

大阪府

京都市

4 福岡スタートアップ・
コンソーシアム

福岡市

スタートアップアクセラレーション
プログラム運営業務

6 仙台スタートアップ・
エコシステム推進協議会

SEIJOHOKU JACALIMIA
STARTUP PLATFORM

みちのくアカデミア発スタートアップ共創
プラットフォームに協力機関として参画

7 広島地域イノベーション
戦略推進会議

広島県

『ひろしまユニコン10』
プロジェクト環境整備業務

中国地域ものづくり中小企業事業化
支援事業 (オープンイノベーション・エコシス
テム構築事業)

【オープンイノベーション】成長産業カンファレンス2023

11月16日に第4回目となる成長産業カンファレンスを開催

- ◆ 初のハイブリッド開催
- ◆ エコシステムをグローバル基準へ
- ◆ 国内外からさまざまなプレイヤーが集う場に
- ◆ GRIC PITCH CONTEST を開催

投資家の皆様へ

本イベントにてIRセッションを開催

概要：グロース市場の課題

登壇者

- 井村 俊哉 氏
- 馬淵 磨理子 氏 ほか

<https://growth.forstartups.com/>



【ベンチャーキャピタル】投資先銘柄

投資先はミドル・レイターステージのタレントエージェンシーサービスの人材支援企業
スタートアップ企業に対し、人材と資金の両面で支援（ハイブリッドキャピタル）を実行



ベンチャーキャピタル事業



株式会社フェズ

2015年12月設立
リテールテック事業
(リテール業界のDXに関する事業)



ユアマイスター株式会社

2016年8月設立
当社の起業支援案件
サービスECプラットフォーム事業



READYFOR株式会社

2014年7月設立
クラウドファンディング事業
寄付・補助金マッチング事業



ポケットーク株式会社

2022年2月設立
翻訳機及び翻訳に関するソフトウ
エアの企画開発、製造、販売等



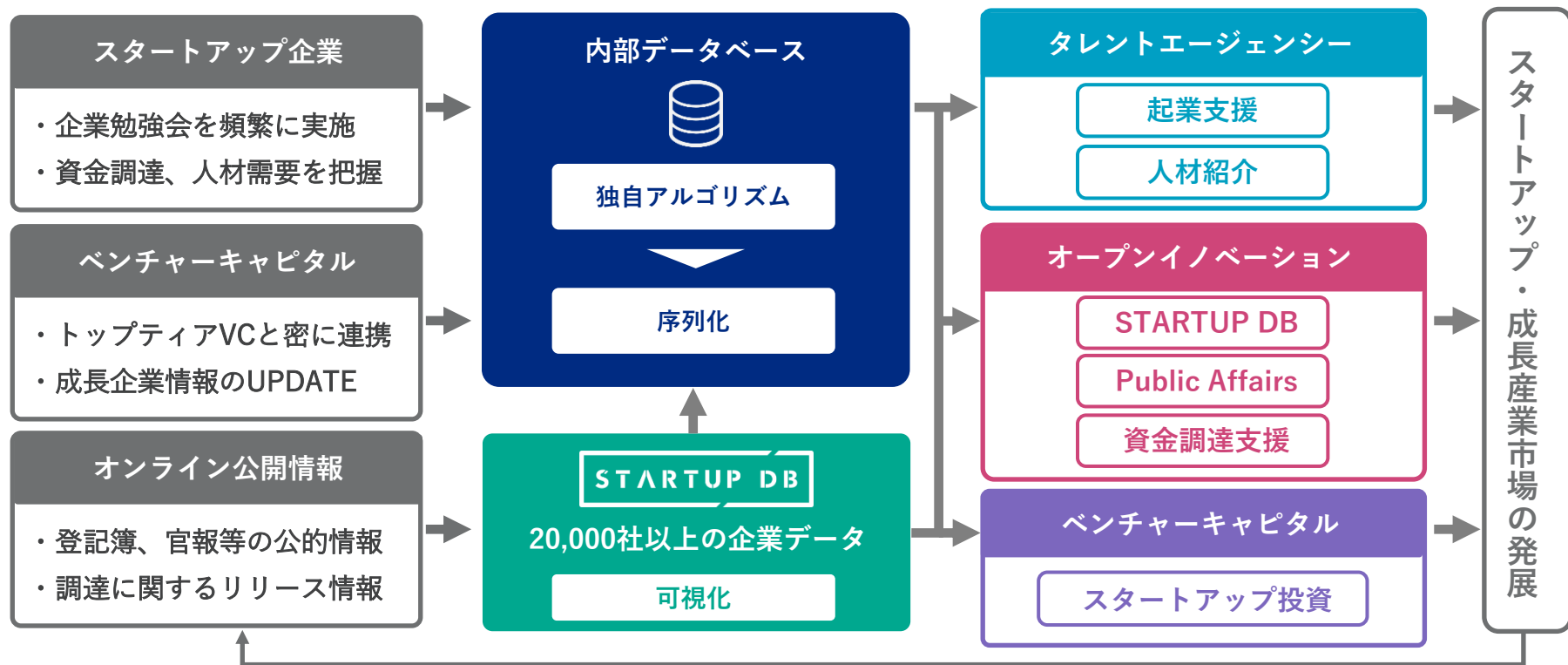
株式会社カケハシ

2016年3月設立
医療関連サービスの開発・提供

投資先のイグジット（IPO・M&A等による株式売却）の際に、株式売却額が売上高、株式取得額が売上原価に計上される
イグジットがないタイミングでは、管理費用のみが発生

【全社】 未公開情報を可視化しシナジーを創出するビジネスモデル

さまざまな情報を集約し、成長産業支援の各ビジネスへ展開



市場の正しい把握に必要な多種多様な情報

1. スタートアップ向け人材紹介のリーディングカンパニー
2. 「スタートアップ支援」は国策
3. 地方都市のスタートアップ政策を支えるチーム

フォースタートアップス代表として、本日私が伝えたいこと

産・官・学・民が連携した
強力なスタートアップ支援を通じて
日本の国際競争力と日本人の高い志を取り戻し
次世代に可能性溢れる時代を継承する

A modern conference room with a long wooden table, black chairs, and a large window overlooking a city skyline. The room is bright and professional, with a large screen on the wall and a view of a city skyline through the glass walls.

Appendix



代表取締役社長
志水 雄一郎

株式会社インテリジェンス(現パーソルキャリア株式会社)にて『DODA』立ち上げなどを経て、2016年に株式会社ネットジンザイバンク(現フォースタートアップス株式会社)を創業。2016年『Japan Headhunter Awards』にて国内初殿堂入りHeadhunter認定。日本ベンチャーキャピタル協会ベンチャーエコシステム委員会委員/経団連スタートアップ政策タスクフォース委員



常務取締役
タレントエージェンシー本部長
恒田 有希子

株式会社サミーネットワークス入社後、株式会社メタップスに入社。同社の事業統括責任者を経て、2016年10月に当社入社。2018年4月に執行役員就任後、タレントエージェンシー本部を統括し、2019年に取締役に就任。2021年より常務取締役に就任。第17回グロービス アルムナイ・アワード「創造部門」を受賞。



取締役 コーポレート本部長
菊池 烈

有限責任監査法人トーマツに入所後、国内企業・グローバル企業の法定監査業務のほか、内部統制構築支援や国際会計基準(IFRS)の導入支援などの業務に関わる。2018年にフォースタートアップス株式会社に監査役として参画。その後、コーポレート本部長に就任し、バックオフィス全般を掌管。2019年取締役に就任。公認会計士。



取締役
アクセラレーション本部長
清水 和彦

株式会社グローリアス、株式会社RSS広告社(現Unipos株式会社)を経て、株式会社セントメディア(現株式会社ウィルオブ・ワーク)にてネットジンザイバンクの立ち上げに参画。2019年6月に取締役兼人事本部長就任、2019年7月より取締役兼アクセラレーション本部長。2021年5月にフォースタートアップスキャピタル合同会社職務執行者に就任。



社外取締役
齋藤 太郎

株式会社電通入社後、2005年に株式会社dofを設立し、2009年に同社代表取締役社長に就任。株式会社ZOZO社外取締役、株式会社CARTA HOLDINGS社外取締役、Sansan株式会社社外取締役、株式会社CC共同代表。2019年より当社社外取締役に就任。



社外取締役
梅澤 高明

CIC Japan会長。国内最大規模の都心型イノベーション拠点CIC Tokyoを2020年に開設。A.T. KEARNEYの日本法人会長を兼務。日米で25年にわたり、戦略・イノベーション・マーケティング・組織関連のコンサルティングを実施。観光、都市政策、知財戦略、クールジャパン、税制などのテーマで政府委員会の委員を務める。2022年より当社社外取締役に就任。



社外取締役常勤監査等委員
志磨 純子

日本長期信用銀行(現株式会社新生銀行)入行後、Coopers & Lybrandロンドン事務所を経て、2002年明治監査法人(現アーク有限責任監査法人)に入所、会計監査に従事。2016年コロプラに入社し、内部監査を担当。2018年当社社外監査役に就任し、2023年より当社社外取締役監査等委員に就任。



社外取締役監査等委員
堀内 雅生

日本インベストメント・ファイナンス株式会社、株式会社インテリジェンスを経て、株式会社サイバーエージェント監査役、U-NEXT(現USEN-NEXT HOLDINGS)取締役管理本部長を歴任。株式会社USEN-NEXT HOLDINGS常勤監査役、株式会社サイバーエージェント社外取締役(監査等委員)。2020年当社社外取締役に就任し、2023年より当社社外取締役監査等委員。



社外取締役監査等委員
秋元 芳史

2000年弁護士登録、あさひ法律事務所(現西村あさひ法律事務所)にて勤務後、グリー株式会社の社内弁護士を経て、2014年独立。原口総合法律事務所パートナー。株式会社ギフティ社外監査役、株式会社ミラティブ社外監査役。2018年当社社外監査役に就任。2023年より当社社外取締役監査等委員に就任。

『志を育てる』の著者である田久保 善彦氏を顧問に迎え、人材育成を推進
社員の志の醸成や、能力開発などの仕組みの進化と深化に関わっていただくことを想定



フォースタートアップス 顧問

グロービス経営大学院 副学長

学校法人グロービス経営大学院 常務理事

田久保 善彦氏 就任



田久保 善彦氏 プロフィール

慶應義塾大学理工学部卒業、学士(工学)、修士(工学)、博士(学術)。スイスIMD PEDコース修了。株式会社三菱総合研究所を経て現職。経済同友会幹事、上場企業、スタートアップ企業社外取締役等も務める。著書に『ビジネス数字力を鍛える』『社内を動かす力』（ダイヤモンド社）、共著に『志を育てる（増補改訂版）』、『グロービス流 キャリアをつくる技術と戦略』、『27歳からのMBA グロービス流ビジネス基礎力10』、『創業三〇〇年の長寿企業はなぜ栄え続けるのか』、『これからのマネジャーの教科書』（東洋経済新報社）、『日本型「無私」の経営力』（光文社）、訳書に「信念に生きる～ネルソン・マンデラの行動哲学」（英治出版）等がある。

Mission

(共に)進化の中心へ

Vision

for Startups

Value

*Startups First
Be a Talent
The Team*

特段の構造的変化はなく財務健全性は維持

(百万円)	2023年3月期 (前期末)	2024年3月期 1Q
流動資産	2,567	2,373
現金及び預金	1,745	1,534
営業投資有価証券	463	463
固定資産	402	369
資産合計	2,969	2,742
流動負債	779	484
未払金	426	177
短期有利子負債	66	37
負債合計	779	484
純資産	2,190	2,258
自己資本	1,767	1,838
非支配株主持分	405	399
負債・純資産合計	2,969	2,742

- 総資産現預金比率：55.9%
- 自己資本比率：67.0%

四半期業績・販管費推移

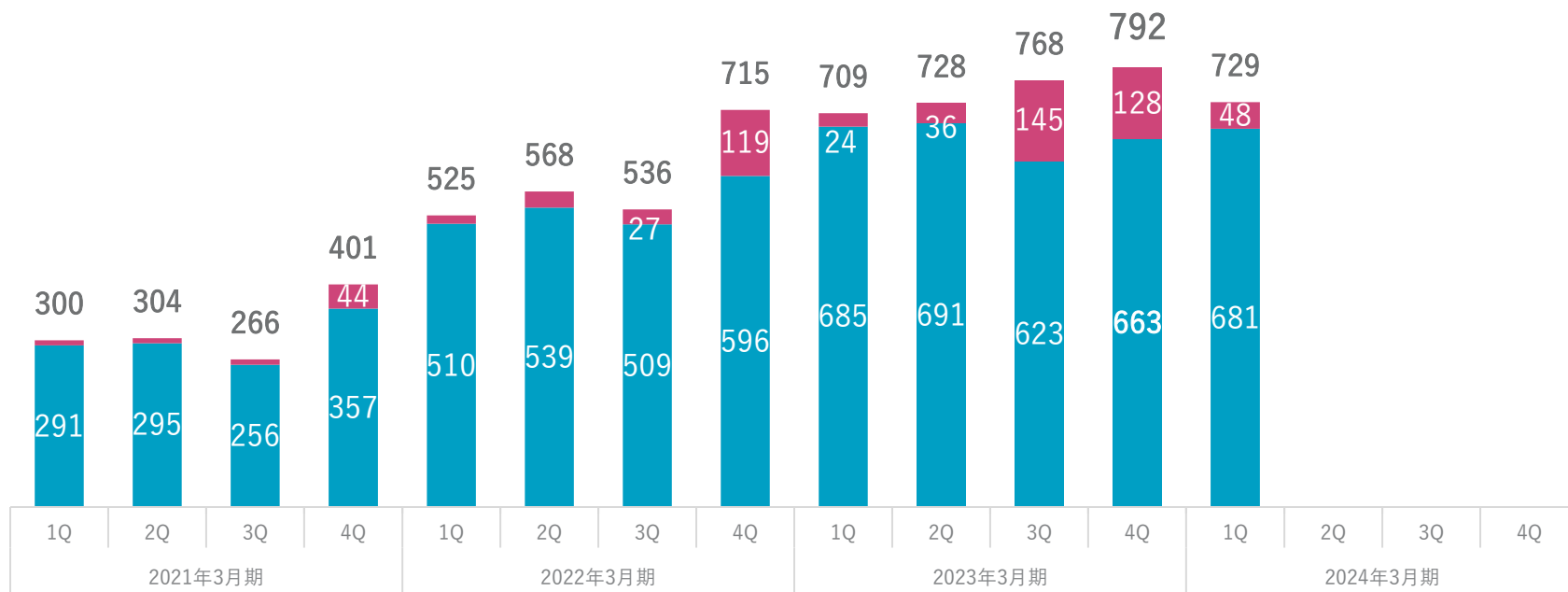
(百万円)	2022年 3 月期				2023年 3 月期				2024年 3 月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	525	569	537	716	709	728	768	792	729			
売上総利益	414	442	426	590	585	591	643	637	618			
販管費	302	301	327	454	421	437	473	539	517			
人件費	230	229	240	255	301	302	326	365	376			
採用費	8	6	5	10	13	17	8	23	8			
地代家賃	19	23	28	42	32	32	32	32	32			
減価償却費	1	1	14	15	4	5	3	3	3			
その他	41	39	39	129	70	79	103	115	96			
営業利益	112	140	98	136	163	153	169	97	101			

注) 百万円未満切捨て、2022年3月期第2四半期より連結決算開始

【全社】 サービス別売上高－四半期推移

■ タレントエージェンシー ■ オープンイノベーション

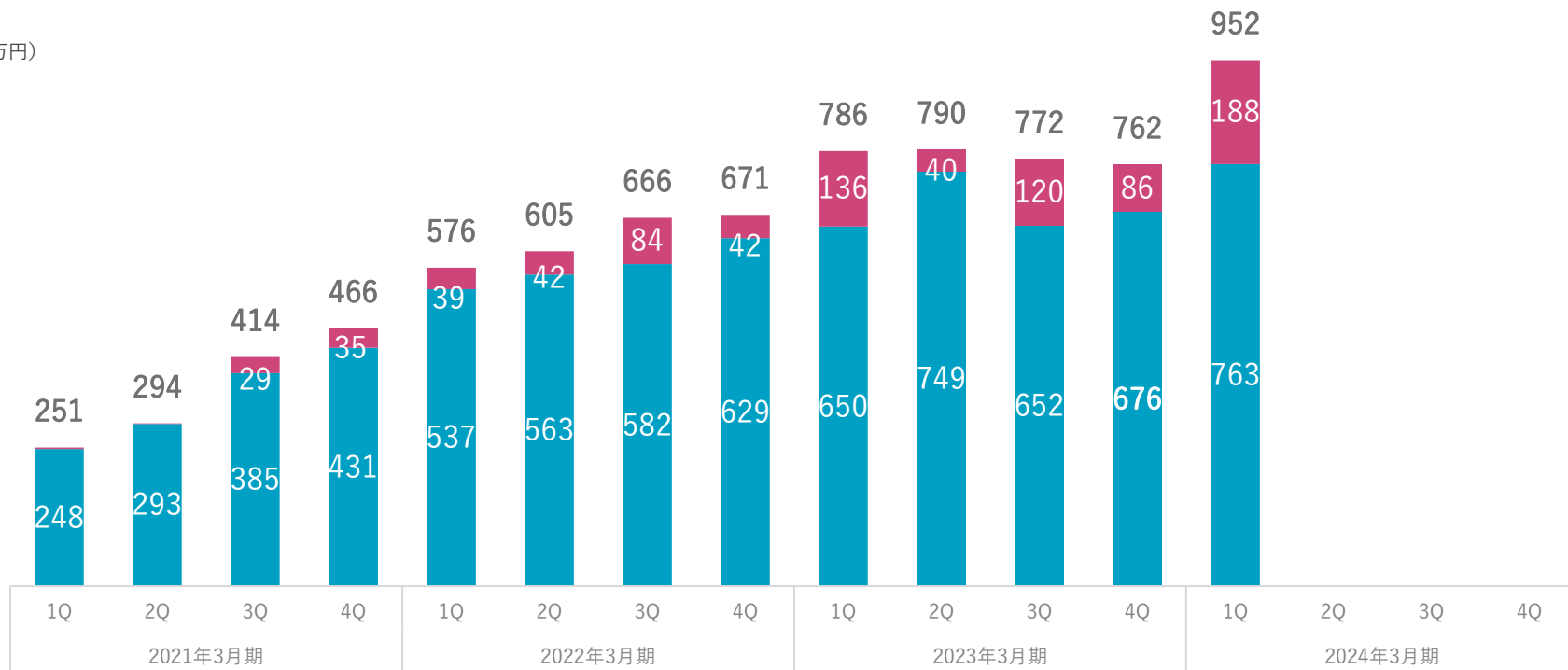
(百万円)



【全社】 サービス別受注高－四半期推移

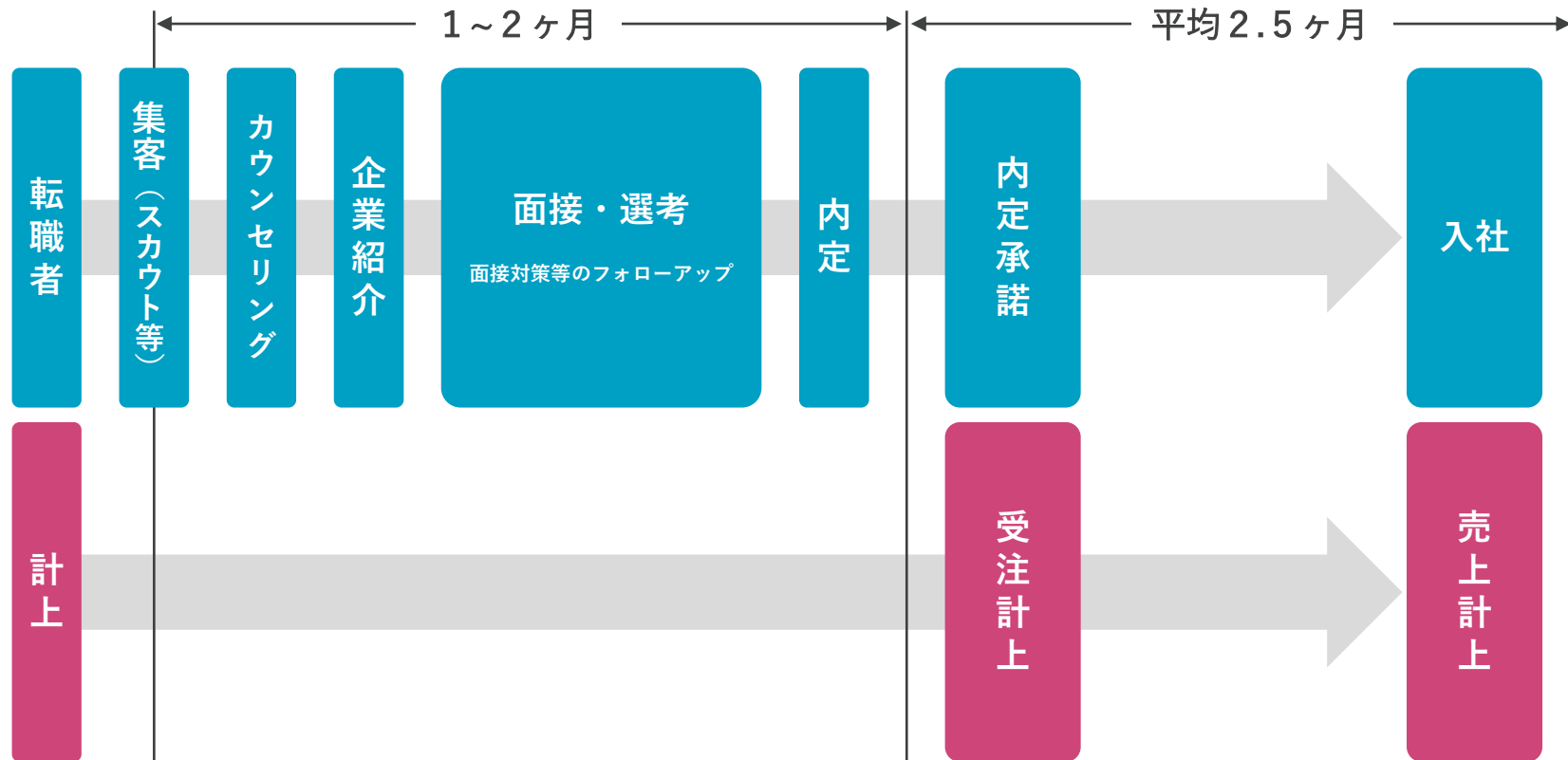
■ タレントエージェンシー ■ オープンイノベーション

(百万円)



【タレントエージェンシー】人材紹介サービスのビジネスフロー

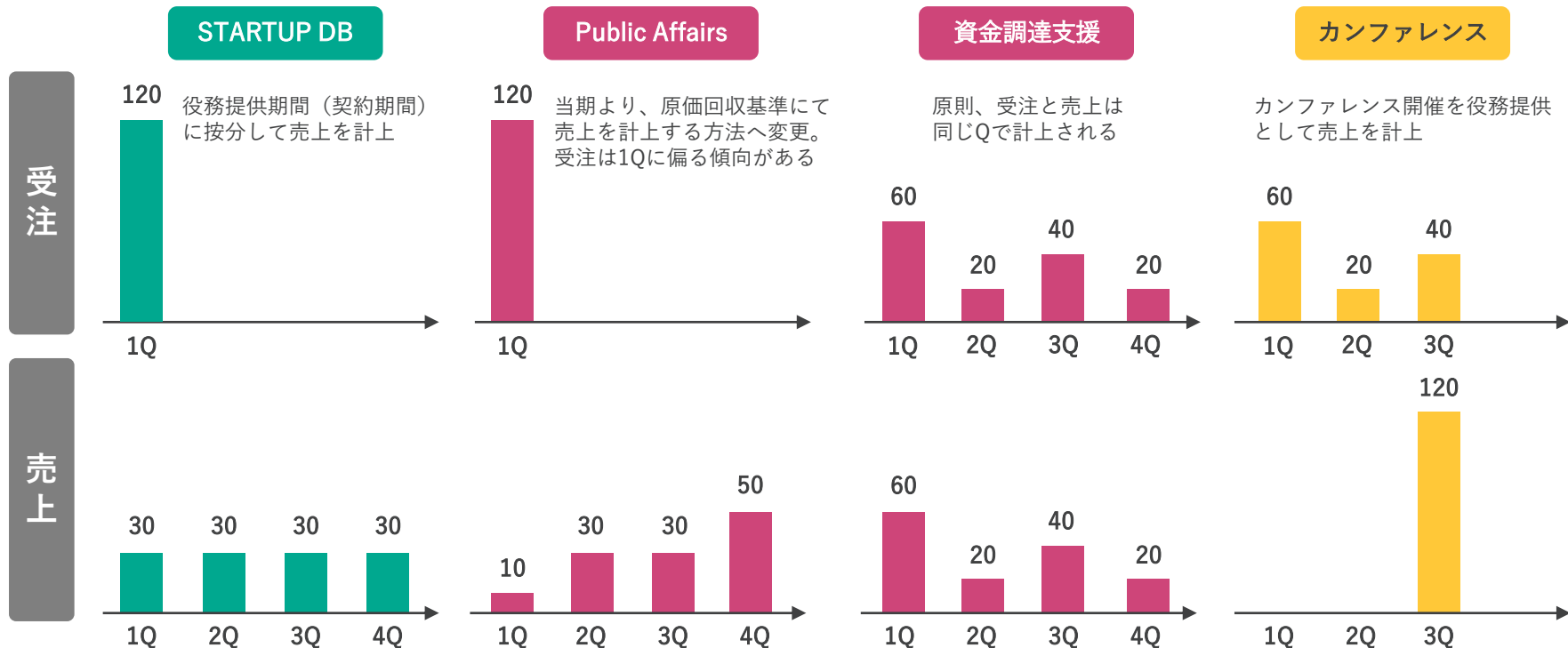
個人差はあるものの、初回接点から売上計上までは平均3～5ヶ月を要する



【オープンイノベーション】各サービスの計上フロー

サービスごとに受注・売上の計上方法・タイミングが異なる

※各数字・計上方法等はわかりやすく簡易的に表現したものです

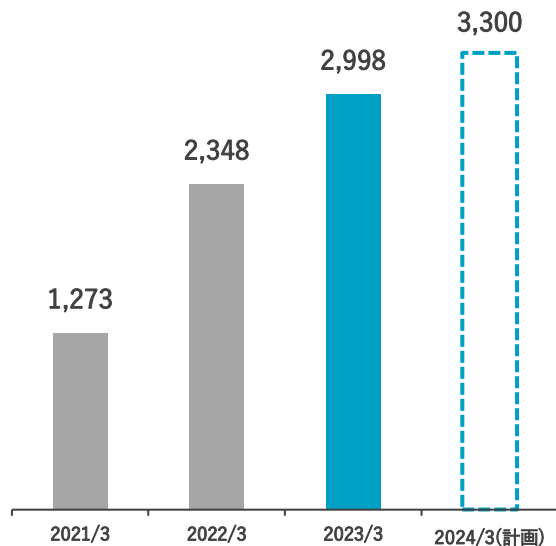


【業績等の状況】

外部環境（資金調達市場）悪化を見据えた業績予想を公表も、足もとは力強く推移
現在から下期にかけて、成長ドライバーである人材採用をより強化している

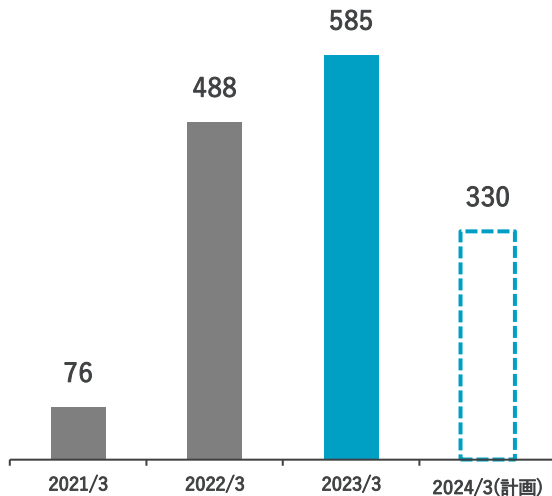
売上高

(百万円)



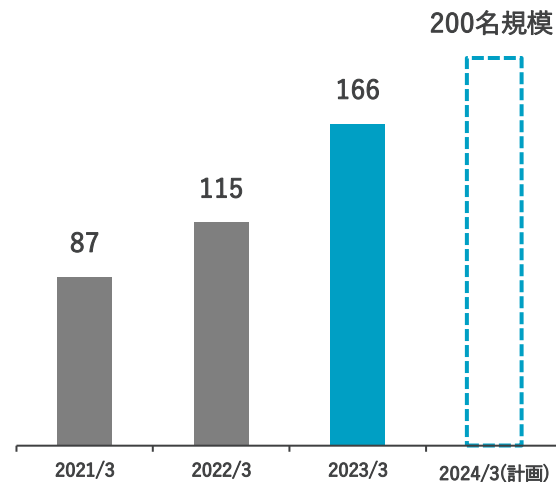
営業利益

(百万円)



社員数

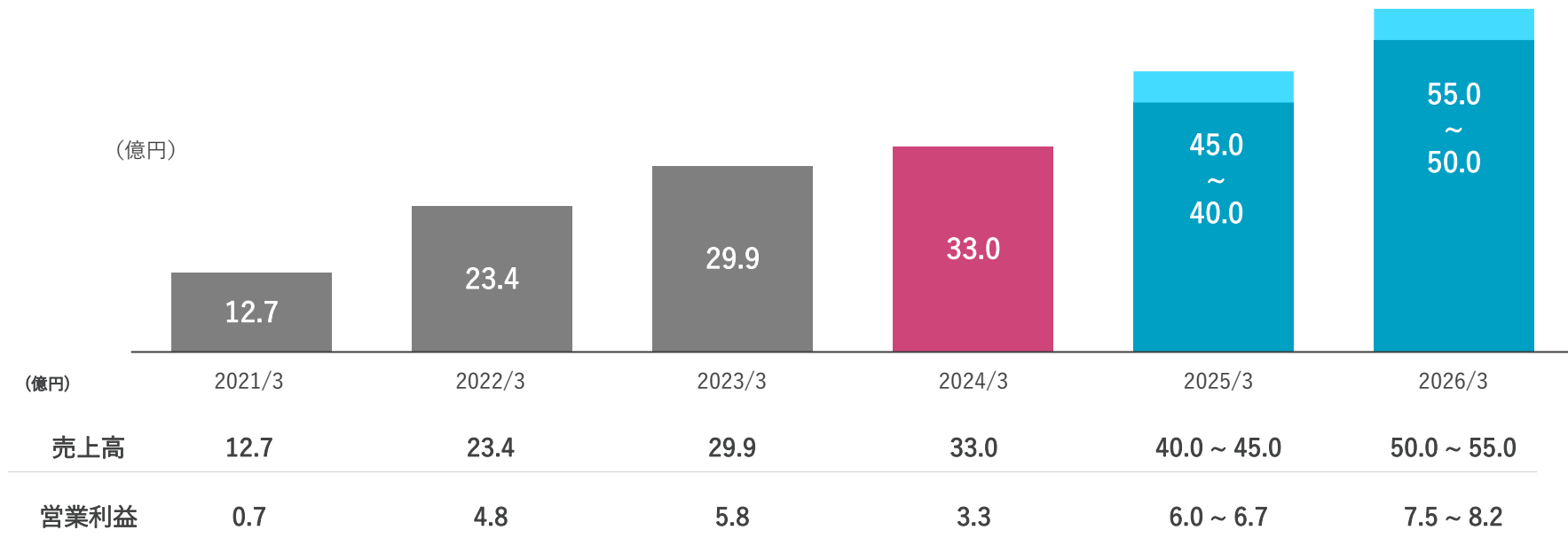
(名)



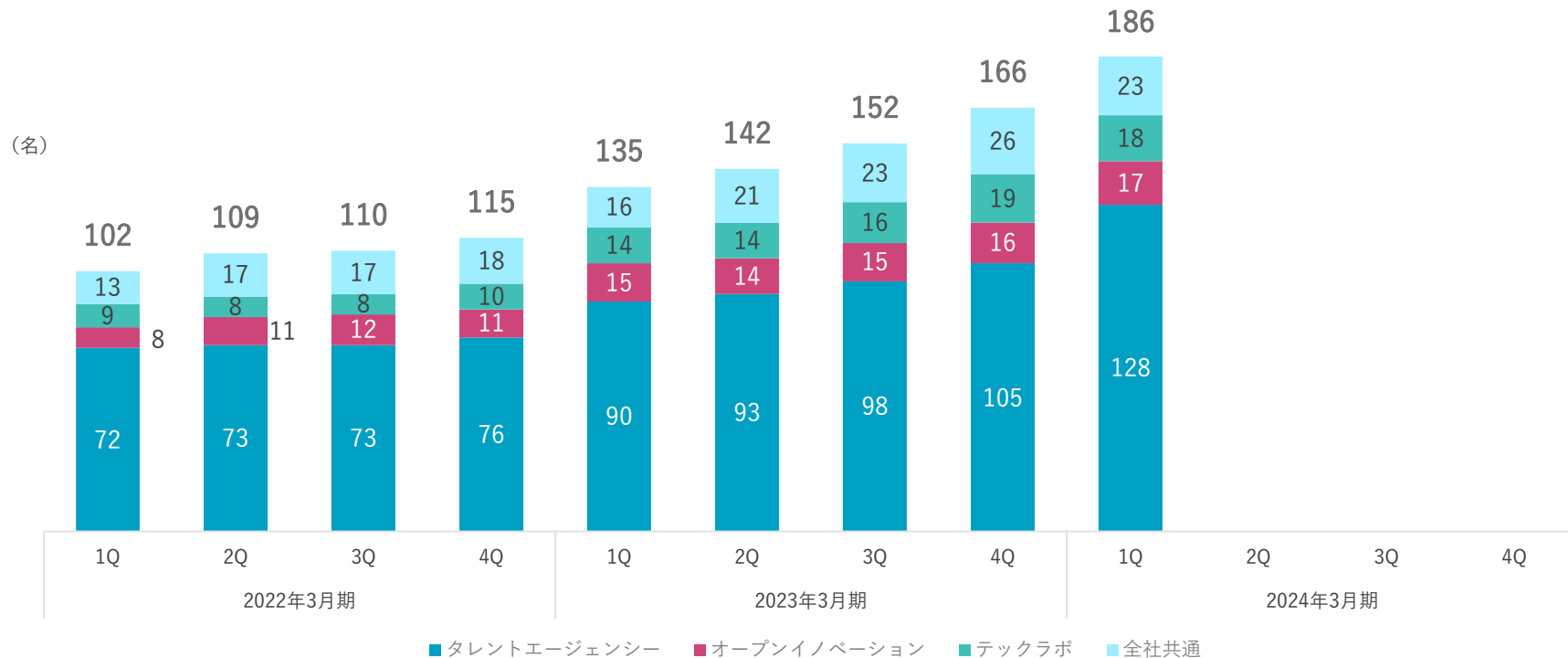
【全社】中期業績目標

2026年3月期に連結売上高50億円超を目指す
25年3月期以降は営業利益率は15%程度を原則とし、
全社CAGRの向上を見据えた再投資を行う

連結売上高計画



2023年4月入社の新卒社員を迎え入れたことで180名を超える体制に拡大



注)産休・育休等の休職中の社員を含んでおります。

人的資本関連データ

(2023年6月30日現在)

正社員数	186名	
男女比	男性：73.1%	女性：26.9%
管理職男女比	男性：75.0%	女性：25.0%
新卒・中途割合	新卒：21.0%	中途：79.0%
	※分社化前より在籍している社員はすべて中途を含む	
平均勤続年数	1.89年	
平均年齢	29.4歳	
取締役数	9名（監査等委員を含む）	
社外取締役割合	55.6%	
取締役男女比	男性：77.8%	女性：22.2%



2023年4月1日入社の新卒社員

SNSデータから見る「Z世代の注目企業」にて第3位群にランクイン

SNSデータから見る「Z世代の注目企業 2022」

エンゲージメント量	企業名
10,000～	伊藤忠商事 カバー
5,000～9,999	フォースタートアップス キリンホールディングス サイボウズ グーグル heart relation アクセンチュア ランサーズ
3,000～4,999	207 リブ・コンサルティング メルカリ パナソニック ヘラルボニー 国際協力銀行 ひろのぶと クリプトン・フューチャー・メディア
2,000～2,999	カブコン ドズル LayerX 塩野義製薬 電通デジタル オークネット GVA TECH Metaverse Japan THECOO デロイト トーマツ コンサルティング Chatwork SmarTHR 大吉不動産 GMO インターネットグループ Voicy マネーフォワード 暗号屋 セールスフォース・ジャパン
1,000～1,999	ヴィエムウェア ユーザベース Zillow Group, Inc. PR Table マッキンゼー・アンド・カンパニー アルファドライブ 海士 ラクスル FLUX キューブアンドカンパニー 英治出版 Gunosy 犬猫生活 ニット 吉野家 ソフトバンク ユニバーサル ミュージック Tesla, Inc. カミナシ 10X M&A 総合研究所 cotree リクルートスタッフィング ヤプリー

調査 / 作成 No Company 

SNSデータから見る「Z世代の注目企業2022」 (画像提供/No Company)

投資家からの認知度や一般認知度に改善の余地はあるものの若い世代からの認知度は高い

この認知度の高さを活かし、人材採用の強化を進める

企業公式SNS

X (旧Twitter)

<https://x.com/forstartups?s=20>

Facebook

<https://www.facebook.com/forstartupsinc/>

LinkedIn

<https://www.linkedin.com/company/forstartupsinc/>

Wantedly

<https://www.wantedly.com/companies/forstartups>

当社グループ事業に関するリスクについて特に重要と認識している事項は以下のとおりです。
その他のリスク情報に関しては有価証券報告書の【事業等のリスク】をご覧ください。

重要なリスク	発生可能性	影響
人材確保及び育成について 当社グループ事業のさらなる拡大及び企業価値の継続的な向上のためには、人材の確保や人材育成が重要と認識しております。特にタレントエージェンシーにおいては人材の確保が必要不可欠であるとともに、期待通りの効果を発揮するまでに、一定の育成期間を要することがあります。当社グループは、全社を挙げて人材採用・育成に取り組んでおりますが、当社グループが求める人材が適時適切に確保されなかった場合には、当社グループの財政状態及び経営成績に影響を及ぼす可能性があります。	中	大
市場環境について 当社グループは国内のスタートアップ企業向けまたはそれに関連したサービスを提供しており、潜在的に国内におけるスタートアップ企業の企業動向・求人需要等に影響を受けております。特に、当社グループの主力サービスであるタレントエージェンシーは、スタートアップ企業の求人ニーズに影響を受ける可能性があり、国内外の経済情勢や景気動向の悪化、地政学リスク、金融資本市場の変動の影響等により、スタートアップ企業数やスタートアップ企業に対する資金供給が著しく減少した場合には、当社グループの財政状態及び経営成績に影響を及ぼす可能性があります。	中	大
ファンドで保有する株式の評価減リスクについて 当社グループにおいて、ベンチャーキャピタル事業を行っております。当社子会社を通じて組成したファンドは未上場株式を投資対象としており、経営資源に制約があること等から、景気や市場動向等の影響を受けやすく、事業の不確実性が高いといった特徴があります。そのため、保有する未上場株式の評価減により、当社グループの財政状態及び経営成績に影響を及ぼす可能性があります。	中	大

当社は、中長期的な企業価値の向上を目指しており、そのためには、将来の成長を見据えたサービスへの投資を積極的に行うことが重要であると認識しております。現時点では、内部留保の充実を図り、事業拡大のために投資し、業績等の成長を優先するべきであると考えております。

内部留保資金については、人員の拡充・育成ならびに収益基盤の多様化や収益力強化のための投資に活用する方針であります。

将来的には、各期の経営成績及び財政状態を勘案しながら株主に対する利益還元を検討していく方針ですが、現時点において配当実施の可能性及び実施時期等については未定であります。

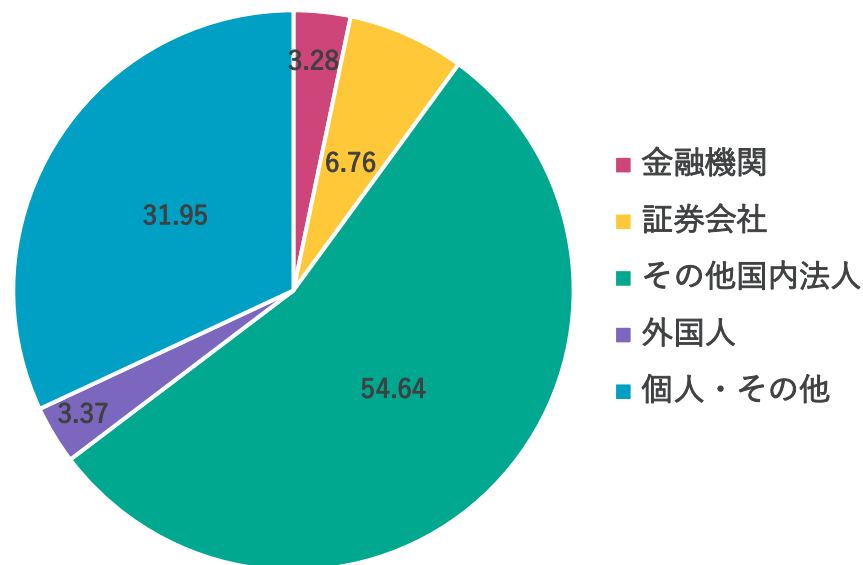
なお、剰余金の配当を行う場合、中間配当と期末配当の年2回の剰余金の配当を行うことを基本としており、中間配当を行うことができる旨を定款で定めております。なお、当社は会社法第459条第1項の規定に基づき、法令に別段の定めがある場合を除き、剰余金の配当にかかる決定機関を取締役会とする旨を定款に定めております。

株主構成（2023年3月末時点）

大株主の状況

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社ウィルグループ	1,925	54.28
志水 雄一郎	238	6.71
吉川 徹	116	3.29
株式会社SBI証券	94	2.66
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	92	2.60
小原 健	65	1.84
楽天証券株式会社	51	1.45
清水 和彦	37	1.06
杉本 容啓	37	1.04
戸村 憲史	35	0.99

所有者別株式分布



株価(円)

6,000

4,000

2,000

0

2020年3月13日
新型コロナウイルスによる
「日経平均株価1,128円安」の日に上場

2020/3/13 2020/7/13 2020/11/13 2021/3/13 2021/7/13 2021/11/13 2022/3/13 2022/7/13 2022/11/13 2023/3/13 2023/7/13

出来高(調整後) 終値(調整後)

公募価格	1,770円
初値	1,628円
上場来高値	5,890円(2021年11月12日)
上場来安値	1,191円(2020年12月25日)

IRメール会員登録

IRメール会員登録中

当社の適時開示・法定開示情報などのIR情報を配信しております。
登録は以下URLまたは二次元バーコードからご登録いただけます。

<https://www.magicalir.net/7089/irmail/index.php>



▼以下のようなメールがタイムリーに届きます

【フォースタートアップス株式会社】適時開示情報のお知らせ

受信トレイ ✕

フォースタートアップス株式会社

6月30日(金)

フォースタートアップス株式会社からIR情報のお知らせです。

日時：2023/06/30 15:00

カテゴリ：その他

文書名：支配株主等に関する事項について

ファイル：<https://fs2.magicalir.net/tdnet/2023/7089/20230626510582.pdf>

日時：2023/06/30 15:00

カテゴリ：その他

文書名：事業計画及び成長可能性に関する事項

ファイル：<https://fs2.magicalir.net/tdnet/2023/7089/20230626510584.pdf>

このメールは当社の適時開示・法定開示情報などのIR情報を自動で配信する仕組みとなっております。

本資料の取り扱いについて

本資料には、将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの記述は、当該記述を作成した時点における情報に基づいて作成されたものにすぎません。さらに、こうした記述は、将来の結果を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。実際の結果は環境の変化などにより、将来の見通しと大きく異なる可能性があることにご留意ください。

上記の実際の結果に影響を与える要因としては、国内外の経済情勢や当社の関連する業界動向等が含まれますが、これらに限られるものではありません。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合において、当社は、本資料に含まれる将来に関するいかなる情報についても、更新・改訂を行う義務を負うものではありません。

また、本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。